2019年3月５日

**神奈川県教育委員会教育長　桐谷次郎様**

NPO法人神奈川県自然保護協会

理事長　藤崎英輔

**江の島における街路樹等の植栽について（要望）**

　日頃より神奈川県教育行政、特に文化財保護についてのご尽力に感謝申し上げます。

　聞くところによりますと、2020年オリンピック・パラリンピックで江の島がセーリング競技の会場になるにあたり、島の修景を図るための植栽の計画があるとのことです。

　いうまでもなく江の島は史跡名勝、かながわの美林50選、かながわ未来遺産、さらに当協会指定の「神奈川県生物多様性ホットスポット」に選定されている県内有数の良好な海域・陸域生態系と景観を有する地域であります。またその豊かな自然環境を目的に多くの観光客が訪れ、経済活動も盛んな場所でもあります。これらを踏まえ、県が現在、全国でも先進的な取り組みを行っているSDGsにおける9、11、14、15を包括的に実現できる地域として、一過性のイベントに終わらない神奈川県の貴重な文化財として以下の事項について特別な配慮をされることを強く要望いたします。

１．旧女性センター建設にあたっては自然環境の改変が生じるため、計画時に環境保全の基礎資料として植生調査が行われた（宮脇ほか，1984）。県はこれに従って旧女性センター周辺で森林再生と修景を実施した経緯がある。

このことを踏まえ、今回も樹木などの植栽に当たっては、当時と同じく自然環境への配慮の観点から地域の自然環境に根ざした街路樹や緑地の植栽を行うこと。

２．現在、江の島では生物多様性の重大課題である、要注意外来植物を始めとした外来植物の侵入が深刻となっている。このことを踏まえ国内・国外外来種や園芸種などの江の島の生物多様性の障害となる植物などの導入を防止すること。

３．女性センター建設時から30年以上の時間が経過しており、その後の科学的知見の進歩や自然環境の変化等に対応する必要があるので、江の島の植生に造詣の深い専門家に植栽施工計画に関し意見を求めること。その専門家については当時調査に携わった関係者を含めること。

本文書についての照会先

NPO法人神奈川県自然保護協会事務局

〒243-0816　厚木市林5-15-10

℡　046-222-2356